

第77号

看護連盟いわて

■発行所／岩手県看護連盟
〒020-0021 盛岡市中央通3-11-6
グランディール中央3F
TEL／019-625-7666
FAX／019-625-7637
E-mail／kanren-iwate@eins.rnac.ne.jp
■発行責任者／小林 長子
■印刷所／永代印刷株式会社

日本看護連盟 スローガン

「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」



Contents

岩手県・日本看護連盟会長／岩手県看護協会会長あいさつ	2
国会議員国政報告	3
石田まさひろ議員応援メッセージ	4~5
通常総会報告他	6
研修会報告	7
今後の研修会／入会案内	8



岩手県看護連盟
ホームページ

2025年度会員数

2025年9月30日現在

看護連盟会員	1,301名
賛助会員	132名
看護協会会員	7,338名
加入比率	17.7%



ご挨拶

岩手看護連盟

会長 小林 長子

今年の夏は、岩手でも真夏日が続き、猛暑日もあり「熱中症警戒アラート」が出されるという経験をしました。10月に入りめっきり秋を感じるようになってきました。

皆様にはご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。

そんな暑い夏に行われました第27回参議院議員選挙で、石田まさひろ候補が、三たびの当選を果たすことができました。当選確実したのが翌日になり、それまでドキドキ、ハラハラした夜を過ごしました。厳しい選挙戦でしたが「未来の看護に繋がる!」と、ホッとしています。皆様と共に喜びたいと思います。お疲れ様でした♡

石田候補への岩手県得票数は1,309票で、前回より608票の減でした。総括をして次に向かって行きたいと思っています。

石田議員は、すでに、2040年を見据え「国民の生命・暮らしを守るため、看護・介護の現場を元気に!さらにその先を目指す」と、活動を開始しております。いつも現場目線で“看護の未来”を考えて

いる石田議員を、看護職の為にも、国民の為にも、皆様と共に精一杯応援して行きたいと思います!

看護連盟は、看護協会が創設した政治団体で、看護の質の向上や働く環境の改善・処遇の改善を図るなどの看護政策実現のために、看護職代表を国政の場へ送るという大きな役割を担って活動しています。法律や規則等の制定や改正できるのは国会議員です。看護職は、資格を持った専門職です。専門職団体として自分たちの代表を国政の場へ送ることにより目的を達成することができます。看護協会と看護連盟の活動を今一度ご理解いただきたいと思います。そして、石田議員がいつも言っている「今日も良い看護が出来たー!」と言える毎日に行きましょう。

これからも、看護連盟は看護協会と連携・協働して活動して行きます。

看護職の皆様の入会をお待ちしております。

“届けよう看護の声を!私たちの未来へ” ～看護の未来をつくる看護連盟～



ご挨拶

日本看護連盟

会長 高原 静子

第27回参議院選挙で石田まさひろ候補が3度目の当選を果たしました。

都道府県看護連盟と支援者の皆様が連携し、17日間の選挙期間を全力で戦い抜いた結果です。お疲れさまでした。

選挙戦を振り返ると、関係者が一丸となって活動していることを感じていたので、152,649票という獲得票数に、「なぜ?」という思いが残りました。選挙の難しさを改めて痛感しました。

今回の選挙は高い投票率の下、若い有権者の支持を獲得した党が議席を増やしました。国政の多様化も進みました。何が有権者を動かしたのでしょうか?

今後開催される都道府県別会議の結果を踏まえ、各都道府県の現状と課題解決に向けた取り組み、日本看護連盟の取り組み等、「選挙に強い看護連盟」を目指して再考すべきではないかと考えています。皆さんは、どう考えていらっしゃるのでしょうか?

一方で、これまで石田議員が推進してきた看護職の処遇改善、看護職員不足への対処、診療報酬の基本的考え方の改定など、看護政策の実現に向け、さらに前進できる喜びを、皆様と共に分かち合いたいと思います。

国は7月末に「2040年を見据えた看護提供体制の在り方」を示しました。目指すべき基本的な方向性として、限りある医療資源を最適化・効率化しながら、地域完結型の医療・介護提供体制の構築を目指す必要性が示されました。

看護職には人々の健康と生活を守るため、あらゆる場での一層の活躍が期待されています。この期待に応えるためには、看護職が専門性をさらに高めるとともに、その能力が十分に発揮できる基盤となる看護提供体制の構築や制度的な対応・実現が重要です。看護が人々の生涯にわたって健康を支えるためには、日々の暮らしの中で、人々が看護と多様な接点を持つことができる地域づくりが必要です。人々の地域での療養生活を支える最も身近な存在として、看護はその役割発揮をより一層強く期待されています。

看護の力を十分に発揮できる環境を共に創りましょう!



ごあいさつ

公益社団法人 岩手県看護協会

会長 相馬 一二三

日頃より会員の皆様には、当協会の事業の推進にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

日本看護協会では、「看護の将来ビジョン2040」が公表されました。当協会も2040年を見据えながら地域の実情を鑑み、「課題の明確化・今できること」を考え次年度の計画を考えているところで

す。多くの施設では、看護職の人材不足をはじめ課題が山積しています。その中で、看護の質を向上しつつ地域住民の健康を守るためには、看護DXの活用促進や看護職の働きやすい環境整備など看護政策の実施が必要不可欠になります。当協会は、各施設の課題を少しでも解決できるよう、一歩ずつ取り組んでまいりたいと思います。

さて、今回は皆様に「看護政策の実現」について再考していただきたいと思っています。看護職の課題解決には、それぞれの施設の努

力だけでは解決できない課題も多く、そこで、看護政策の提言が必要になります。日本看護協会・日本看護連盟は、看護職能団体として看護政策実現のため国へ要望書を提出するなど活動を実施しています。課題解決するためには、制度改革や診療報酬の改定など財政支援を促進していただく必要があります。また、看護職の代表が政策形成に関わることによって、医療環境をさらにより良いものにし看護サービスの充実につながります。つまり、皆さんの力が看護政策の実現につながります。

皆様には、看護の専門性を発揮していただき、日々の看護実践の中で看護のやりがいを感じながら医療・看護・介護の現在・未来をつなぐ架け橋となっていただくことを期待しています。

そして、一人ひとりのウェルビーイングを大切にしながら、働いていただきたいと思っています。

最後になりましたが、岩手県看護連盟と岩手県看護協会は連携を図りながら活動しています。今後とも皆様方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



衆議院議員

あべ 俊子

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。先日の参議院議員選挙では、石田まさひろ議員が無事当選することができました。この勝利は、看護の未来を良くしたいと願う皆様の想いが結実した結果であると確信しております。

あべは昨年に引き続き、第二次石破内閣文部科学大臣として、文科行政に取り組みました。本年の通常国会では「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)の改正案」、「大学等における修学の支援に関する法律(大学等修学支援法)の改正案」が可決され、成立しました。学校における働

き方改革の推進と教員の処遇改善や、多子世帯の学生への大学等の授業料等減免制度が創設されることとなりました。

また、地域のニーズに応じた産学連携による産業人材の育成促進のため、三重県にある愛農学園農業高等学校などの各学校の視察や、アフリカ諸国との連携強化等のためガーナ共和国及びエジプト・アラブ共和国の訪問、8月20日からのTICAD9へ参加するなど多忙な毎日を送っております。

これまで同様、看護は、命を慈しみ、大切な人を護る素晴らしい仕事であると、次世代に伝えられるように、看護職の地位向上や環境改善にも、皆様と共に全力で取り組んで参ります。引き続きご指導ご支援よろしくお願い致します。



参議院議員

石田 まさひろ

物価高や賃金上昇が続く中、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定が追いつかず、医療機関や介護事業所の経営がかつてない危機に直面しています。実際、2025年上半年には医療・介護分野の倒産件数が過去最高水準となり、冬のボーナス削減も相次ぐ見込みです。加えて給与水準の低さから人材が流出し、新たに医療・介護を志す若者も減少しており、このままでは地域医療や福祉体制の維持すら困難となりかねません。

こうした状況を受け、医療系資格を持つ国会議員と関係団体で構成する「カトレア会」とともに、自民党幹事長へ「医療・介護・福

祉の現場を守る補正予算・本予算編成要望」を提出しました。令和7年度補正予算、令和8年度本予算で必要な対策を盛り込み、現場を支える仕組みを強化していくことが不可欠です。

また、自民党内の看護問題小委員会を開催し、厚生労働省・文部科学省・こども家庭庁から令和8年度看護関係予算概算要求の説明を受けました。看護業務の効率化や過疎地医療体制の支援指針、ナースセンター事業拡充等、看護問題対策議員連盟や関係団体の要望が反映されており、一定の前進が見られます。

医療・介護・福祉を支える人材が安心して働き続けられる環境を整えることこそが、国民の命と暮らしを守る最前線を支える道です。引き続き、皆様の声を国政に届け、確実な予算確保と制度改善に全力で取り組んでまいります。



参議院議員

とものう りお

岩手県看護連盟の皆さま、こんにちは！

第27回参議院通常選挙において、石田まさひろ議員が3度目の当選を果たされました。厳しいなかでも、このような結果をいただいたことは、皆様の看護政策推進へ向けた強い思いの表れだと考えています。

今年の通常国会は、内閣府大臣政務官として迎えました。政務官としての担務は幅広く、子ども・子育て政策から、共生共助、孤独・孤立対策、経済安全保障、宇宙、科学技術まで多岐に渡ります。先日、さらにAI政策が担務に加われました。また北朝鮮の拉致

問題も担務でしたので、子をもつ母親として、この問題に改めて強い憤りを感じるとともに、決して風化させてはならないと強い思いを持ちました。

こども家庭庁の政策は、母子保健を中心に、看護と関連するものも多く、これまでの経験を活かしつつ取り組みました。以前、一国会議員の立場で提言した「子ども・子育てDX」の政策がこども家庭庁でしっかりと前進していることは大変喜ばしいことでした。

8月末には党の厚生労働部会 看護問題小委員会が開催され、令和8年度看護関係予算概算要求額も決まりました。引き続き、夜勤看護職員確保対策、ハラスメント、訪問看護、医療安全、看護教育、看護の専門性の拡大など看護政策にも取り組んでいます。石田議員と協力をしながら、国政の場でしっかりと看護の課題の解決に努めて参ります。



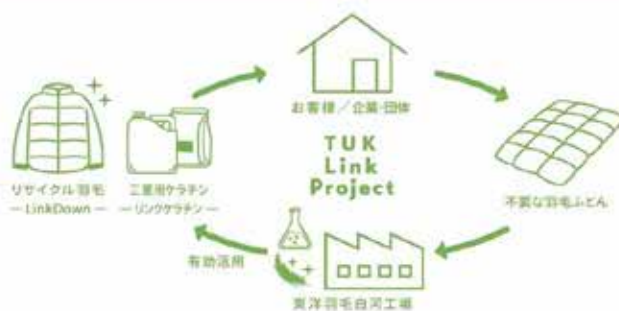
不要な羽毛ふとんは ありませんか？

東洋羽毛が無料でお引取りします

- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は羽毛ふとん(ダウン率50%以上)です。ただし、東洋羽毛の羽毛ふとん、羽毛まくら(ダウン率50%未満)は引取り可能です。羽毛以外のふとん類やリサイクル羽毛として活用できない物は引取りできません。



引取り詳細



東洋羽毛北部販売株式会社

〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井1-29-13

仙台営業所

☎0120-023-337



3期目の参議院、周りとの調和を大切に、思い切り活躍なさることを祈っています

これからのご活躍が**看護の未来**にとって大きな希望になることを心から願っております。

看護の未来のためにいつも国会で頑張ってお下りありがとうございます。

現場を知る看護職議員だからこそできる事沢山あると思います、

やっぱり石田！

がんばれ～～～！

現場のことをわかってくださる石田議員が**国政の場**にいてくださることの大切さを改めて強く感じています。

看護職者がやりがいをもって働けるように宜しくお願いします。

看護職の処遇改善と地方で働く医療・介護・福祉の看護職が安心して働き続けられるような政策を実現してください。

看護職の幸いはもちろんですが、社会全体の幸いの為にも石田議員が培ってきた力をフル回転させることを期待しています。

明るい看護・介護の未来のため、現場の声を届けてください。

いつも現場の声に耳を傾け、力強く誠実に国政に取り組んでくださりありがとうございます。

三たびの当選 おめでとう

岩手県看護連盟役員・
応援メッセージ (生の)

石田議員当選は大きな安堵と喜び。**看護職の代表**として輝き続けて欲しいです。

社会の変化とともに岩手の医療介護の現場の従事者が**笑顔で元気に働き続けられる**ように改革を進めてください。

今の医療体制を変えられるのは石田議員だと感じています。今後の**未来を担う若い世代に力**を貸してください！

現場の声を知る立場から、**よりよい社会づくり**に尽力されることを期待しています。

石田議員の**笑顔と行動力**に期待しています。

看護・医療の発展のために共に頑張っていきたいと思います。

“寄り添う政治”を石田さんの手で実現してください。

石田議員の語る言葉は、いつも看護の原点に返ることができ、自分たちを頑張る気持ちにさせてくれます。岩手での講演を楽しみにしています。



2026年2月14日(土)に岩手県看護連盟・岩手県看護協会合同研修会は、**石田まさひろ**議員をお招きして「**看護の過去・現在・未来について** (仮題)」を、熱く語っていただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

でとうございます！

支部長・青年部より
声)をお届けしま～す！

応援しています！



期待しています！

これからの看護を切り開く
石田議員のご活躍お祈り申
し上げます。

看護の心で日本を
元気に行きま
しょう！

看護・介護・福祉の未来の
為、私たちも声を上げて現
場の声を届けます！

これからも**看護の未来**
のために、頑張ってい
きましょう。応援して
います。

「今日も良い看護ができたね！」を
合言葉に♡

看護師の希望の星！
石田議員のご活躍を心よ
りお祈り申し上げます。

これまでの活動に心か
ら感謝しております！

現場の声を届けるには**看
護職国會議員**が不可欠で
す。応援しています。

石田さんの活動は、
看護の未来を照らす
希望です。

患者さんを支えてきたように、
今度は国民を支えてください。

石田議員の言葉に元
気をもらっていま
す。同世代の星！

ぜひとも石田議員に医療・介
護の**現場の悲鳴**を国政の場で
議論していただき、我々医
療・介護職を救済していただ
きたい！

この困難な現状を変えていく
ことは石田議員にしか成し遂
げることはできません。

これからも日本と**看護の飛
躍**に携わっていただけると
をうれしく思います。

石田議員が国会で戦う
ように、**私たちは現場
で看護の未来のために**
頑張ります。

今後の抱負

※7月に執行された第27回参議院議員選挙で、3期目の当選を果たした石田昌宏議員。これからの看護政策への抱負を語っていただきました。

岩手県看護連盟の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。炎天の酷暑の中でも、荒天の中でも、変わらぬご期待とご声援をいただけることが、私の大きな支えとなっております。私はこれからも、国政の場において、看護・医療・福祉政策の充実に全力で取り組んで参ります。

現在、病院や介護施設の経営はますます厳しさを増し、地域の医療・介護体制は、かつてない危機に直面しています。この現状を打開するためには、物価高騰や人件費上昇に対応した診療報酬・介護報酬の大幅な引き上げが必要不可欠です。それは、現場で働く皆様が誇りを持って、「このまま看護を続けていきたい」と思える処遇と働く環境を整えるために欠かせない取り組みでもあります。

私はこうした施策を通じて、一人ひとりの看護職が「今日も良い看護ができた」と実感できる職場づくりを目指しています。その実現に向けて、人員確保、業務の効率化、キャリア支援の充実等を進め、地域を支える看護の「量」を守りながら、「質」の向上にも力を尽くして参ります。

今後とも岩手県看護連盟の皆様と緊密に連携し、現場の声を国政に届けて参りますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2025年度 日本看護連盟通常総会報告

宮古支部長 白根 ハマ

- 日 時：令和7年6月6日（金）13：00～15：30
- 会 場：ザ・プリンスパークタワー東京

2025年度日本看護連盟通常総会に岩手県看護連盟からは、中央役員として小林会長、会長代行佐々木副会長、代議員6名（県役員3名、支部長3名）、一般16名（支部長14名、青年部支部役員2名）が出席しました。会場には、1000人を超える看護連盟会員が参集し大熱気の中、開催されました。

高原会長は、開会の挨拶で混沌としている世界情勢や、多発大規模化する自然災害の深刻さに触れ、大きな変革期の中での医療看護の在り方について話されました。そして、2025年はより一層、医療機関の役割分担を明確にし、一人ひとりの看護職が看護の「質」を維持し、人々に身近な専門職として力を発揮することの重要性を語られました。さらに日本看護連盟は「看護職が力を発揮でき、よりよい医療保健福祉の実現に向けて、看護職代表議員への支援を惜まず、一層の努力を重ねていく。」と力強いメッセージを出されました。

来賓の日本看護協会 高橋弘枝会長、ビデオメッセージで自由民主党総裁 石破茂氏から祝辞がありました。阿部俊子文部科学大臣、石田昌宏・友納理緒参議院議員から日頃の看護連盟活動へ感謝と引き続き議員活動への支援・協力への挨拶がありました。

議長団の進行で、「スローガン」「事業計画」「予算」等、10項目の報告がされました。その後中央役員の交代報告があり、退任される富田副会長の閉会の言葉で通常総会は終了しました。



令和7年度 岩手県看護連盟通常総会報告

友愛支部長 工藤 美由紀

- 日 時：令和7年6月28日（土）10：55～12：20
- 会 場：トーサイクラシックホール岩手 中ホール

令和7年度岩手県看護連盟通常総会が、会場参加会員171名、役員・支部長28名、委任状887名、計1,076名のもと、総会は成立しました。

総会開催前に、去る4月30日にご逝去された山下キヌ顧問を含む物故会員へ黙祷を捧げました。

開会式では、小林会長から始めに、大船渡山林火災の募金活動へのお礼が述べられました。次に7月の選挙に向けて、現場の声を国政に届け、看護専門職として自らの働く環境を改善していくためにも石田まさひろ議員の活躍が大事である事が、強く述べられました。

来賓祝辞で岩手県看護協会 相馬一二三会長は、2040年に向けた看護のビジョンについて、また看護職の安心・安全を担保していくため、石田議員を国政の場へ送らなくてはならないと述べられました。

日本看護連盟 高原静子会長、石田まさひろ参議院議員、友納理緒参議院議員からは、ビデオメッセージでご挨拶をいただきました。

議事では、報告事項はすべて承認されました。審議事項の第1号議案スローガン（案）についても、全会一致で承認され、「届けよう看護の声を！ 私たちの未来へ ～看護の未来をつくる看護連盟～」と決定しました。他、第2号議案令和7年度事業計画（案）、第3号議案予算（案）、第4号議案役員選出（案）は、全て承認され、滞りなく終了しました。

会員数の減少に伴い、事業活動費が削減されており、より一層、「会員増加に向けた活動」をしていきたいという思いを強くした総会でした。



自由民主党岩手県支部連合会との政策懇談会

副会長 佐々木 志津子

令和7年5月25日（日）アートホテルで開催された政策懇談会で、連盟会長・協会長・助産師会長他7名が出席し要望書を提出しました。内容は1) 医療・介護に従事する看護師処遇改善、2) 看護師養成所への支援、3) 市内の病院の現状、4) 看護業務へのデジタル技術の促進、5) 訪問看護ステーションへの支援、以上の5項目について自民党岩手県連の議員と活発な意見交換を行い、情報を共有しました。また、昨年度の要望に対する回答と進捗状況の説明を伺い、県内の看護現場の改善に歩みを進めていることを実感しました。



総決起大会で結束力を高めました！

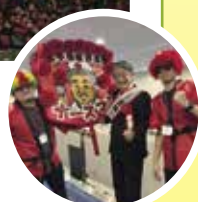
- 日 時：令和7年6月28日（土）10：00～10：50
- 場 所：トーサイクラシックホール岩手 中ホール

青年部支部 中山 隼輔

「看護職国会議員と共に看護政策を推進するために」の思いを掲げ、自由民主党総務会長鈴木俊一衆議院議員をはじめ、友納理緒参議院議員、応援する会小阪佳代会長、多くの自由民主党県議会議員、市議会議員そして石田まさひろ参議院議員の参加で総決起大会が開催されました。

大会は、あまちゃんのテーマで青年部支部役員が掲げる「ナースマン」の大うちわと一緒に石田議員が入場し、ステージでは大漁旗が出迎えるという岩手色満載で始まりました。

時間も限られた中でしたが、看護の現場や看護教育に関するお話を聴き、2期12年間国政でどんな思いで活動してきたのか、石田議員のやってきた事、もっとやりたい事を知ることができました。最後は青年部の「がんばろうコール」で、会場全体の結束力を高めることができたのではないかと思います。石田議員が次の県に向かう新幹線の時間の関係で、青年部からの応援メッセージを送ることができなかったのが残念です。石田議員の笑顔を見ることができ、今後のご活躍を応援していきたいと改めて感じる有意義な時間となりました。ご協力を頂いた皆様、ありがとうございました。



全国ポリナビワークショップ参加報告

- 日 時：令和7年6月7日（土） 13：30～15：00
- 場 所：自由民主党本部 8階ホール

青年部支部 菅野 健太

全国ポリナビワークショップ（以下ポリナビ）は、ハイブリッド会議で開催され、私は勤務の関係もあり、ZOOMで参加しました。今回のポリナビは、各都道府県青年部から提出された動画を視聴し、いいなと思ったものに投票を行い、選挙における「ドント方式」を学ぼうと企画されたものでした。

岩手県青年部からも有志3名、監督兼脚本兼カメラ兼編集の1名、計4名で「HANA Drop」のPV風の自己紹介動画を作成しました。撮影は梅雨前の大粒の雨が降りしきる中2時間にも及びましたが編集のおかげもあり超大作が出来上がりました。

投票は参議院選挙になぞらえ、政党に当たる地方ブロック候補者に当たる県のどちらかに投票する方法で、リモート投票と会場投票で行われました。総数開票の結果、惜しくも宮城に1票差で落選となってしまいました。ドント方式による当選も惜しくも叶いませんでしたが、今回実際に模擬選挙を行い、比例代表の仕組みを理解することができ、とても有意義な時間となりました。

残念ながらPV当選とはなりませんでした。有志の3名と監督にはそれぞれ最優秀賞と、最優秀監督賞を贈りたいと思います。



会員研修会

- 開催日：令和7年7月5日（土） ●会 場：アイーナ812研修室
- テーマ：「未来の看護の実践、どうするか」
- 講 師：岩手医科大学 看護学部 准教授 認定看護管理者 佐藤 奈美枝 先生 ●参加者：83名

幹事 井上 祐子

2025年問題として、少子化・高齢単身世帯の増加により、医療介護従事者の不足が進行していることを知りました。看護の量を守るためには、慢性的・構造的な労働力不足を見直すことが必要であり、病院・施設・教育機関が協働し看護師の育成を目指すことが大事だと分かりました。実際に大学では、臨床看護師との協働授業があり、術後ドレーンに注意しながら清潔ケアの援助方法を学ぶことや、血管確保の援助技術をリアルに学ぶ機会があると知り教育現場が自分達の頃と大分変わっているのだと驚きました。看護の質を追求するためには、情報管理・情報リテラシーの学習機会を持つことや、アセスメント能力の向上・臨床推論などの学習を行うことが重要と学びました。また、プラチナナースの活躍する場については、介護領域にも多くの看護職員が居ます。さらに病院内では、知識コミュニケーション等経験豊かな人材をどのように活かしていくかを考える示唆を得ました。今回の研修で、現在の看護教育について新しく学びを得ることができました。現場での、教育や看護実践に役立てていきたいと思っています。



県役員・支部長研修会

- 開催日：令和7年8月2日（土） ●会 場：アイーナ701会議室
- テーマ：「日頃のスキマ時間でできる運動を通して健康寿命をのばそう」
- 講 師：岩手リハビリテーション学院 専任教員 理学療法士 及川 龍彦 先生
- 参加者：県役員10名 支部長15名

幹事 杉下 佳子

健康寿命の延伸に向けて、生活の中に運動を取り入れることの大切さを学ぶことを目的に、研修会が開催されました。

簡単にできる「ふくらはぎの指圧テスト」や「立ち上がりテスト」「働く前体操（座り仕事編）（立ち仕事編）」などを実際に体験し、自分自身の身体に意識を向けることを見逃しがちであったと気付きました。個人差を踏まえた運動を取り入れる事、動かす筋肉を意識して、強度や量を調整し可能なものから取り組むことなど具体的な運動時の注意点の学びも多くありました。短い時間でも意識して体を動かすことでロコモティブシンドロームを予防し、健康寿命の延伸に活かせる運動習慣を身につけるきっかけとなる研修でした。



新規加入会員研修会

- 開催日：令和7年9月6日（土） ●会 場：アイーナ803会議室
- テーマ：「看護と政治」～新しい看護の時代～ ●講 師：岩手県議会議員 福井 せいじ 先生

幹事 桑原 美幸

最初に福井議員は、看護連盟の活動支援が石田まさひろ参議院議員の3期目の当選につながったと、看護職の底力の結集を称えられました。そして、常に現場目線をもった看護職代表が国会の場にいる事は、看護職の働く環境をよりよくするために非常に大切なことであると話されました。また、岩手県における看護職の状況の説明を聞き、人口10万人対就業看護職員数は全国平均より高いという現状に驚くとともに、自施設や近隣病院の実態から県内の病院施設ごとの格差が大きいことを実感しました。講演で最も印象に残ったのは「政治とは、社会全体でどう生きていくか決め、その決まりを実行し、守らせる仕組みである。この仕組みを動かすのは政治家だけでなく、私たち一人ひとりの意見や投票も含まれる。」ということです。福井議員は「言わなければ、変わらない」だから議員に声を届けてほしい、「看護職の声を伝える手段として看護連盟がある」と熱く語られました。参加者は20代が4分の3を占め、30代、40代の会員や非会員の参加もありました。「声をあげる重要性が分かった。」「看護と政治のつながりをわかりやすく説明していただいた。」との声が聞かれ、有意義な研修になりました。



今後の研修会の案内

リーダー研修会

- 11月8日（土） 13時30分～15時
- 会 場：アイーナ812研修室
- 講 演：連盟の役割とリーダーシップについて
- 講 師：日本看護連盟 会長 高原 静子 先生

岩手県看護連盟・岩手県看護協会 合同研修会

- 2026年2月14日（土） 14時～16時30分
- 会 場：アイーナ804会議室
- 講 演：看護の過去・現在・未来について（仮題）
- 講 師：参議院議員 石田 まさひろ 先生

現場の声で未来をつくる

身近な方にも
入会を
おすすめ下さい！



会員目標数

2,500名

2024年度
会員数1,463名

看護連盟入会募集

2025年度受付中

看護連盟は看護協会の提言した政策を実現するために
国政に代表を送る役割を担っています

● 年会費

正会員・特別会員	8,000円（日本看護連盟5,000円・岩手県看護連盟3,000円）
看護職 賛助会員	1口1,000円2口以上
一般 賛助会員	1口1,000円1口以上
学 生 会 員	無料

メール・FAX・TELで 随時受付中！

仲間の輪を
広げましょう！



教えて！選挙



カンタ

レンコ

Q ▶ 総決起大会ってなあに？

A ▶ 看護政策を実現させるために、看護連盟会員が一堂に会して結束の確認をしあう会で、シンプルに言う「看護の代表を国政の場に送り、看護政策を実現させるぞ！」
「みんなで心を一つにして頑張ろう！」
という決意を確かめ合うための大会だよ。

編集 後記

力強い言葉で、私たちを明るく照らす石田まさひろ参議院議員が見事に当選を果たしました。私たちは、これから
も石田議員をはじめとする看護職代表議員の活躍や看護連盟の活動を身近に感じていただけるよう発信していき
ます。看護連盟と看護協会が手を取り合って互いに支えあい、力を合わせながら一緒に活動する仲間の輪を広げま
しょう。
（広報委員／佐々木志津子、桑原美幸、井上祐子、大澤眞子、浦田琳）

クオリティーの向上



誠実・医療に奉仕

共立医科器械株式会社

● 本 社 〒020-0013 岩手県盛岡市愛宕町15-9 ☎(019)623-1205(代) FAX(019)653-5301

矢巾営業所 ☎(019)613-6771 ☎(019)613-6772	水 沢 支 店 ☎(0197)25-6221(代) ☎(0197)25-6223	さんりく営業所 ☎(0193)23-0491(代) ☎(0193)23-0976
八 戸 支 店 ☎(0178)43-2923(代) ☎(0178)44-1957	弘前営業所 ☎(0172)55-5081 ☎(0172)55-5082	青森営業所 ☎(017)718-3205 ☎(017)718-3206
秋田営業所 ☎(018)884-7464 ☎(018)884-7465	共立サポートセンター ★ ISO9001 認証取得 ☎(019)652-8988 ☎(019)623-4161	

■医療機器 ■医療情報システム ■病・医院諸設備 ■理化学機器

<https://www.kmic.co.jp/>